

第1回

名古屋大学 イニシアティブ ウェビナー

第3回名古屋大学高等研究院ウェビナーと第10回NLSセミナーの併催

叡智を結集し、
未来社会を先導する若手研究者たち

生命と 人工知能

2021.

7.29 木

9:30-12:00

Zoomウェビナーによるオンライン配信

参加無料
申込制

9:30~ 司会挨拶 湯川 博 (未来社会創造機構 特任教授)・河江 肖剰 (高等研究院 准教授)

9:35~ 開会挨拶 周藤 芳幸 (高等研究院 院長)

9:40~ 膨大な情報の中から生命現象の鍵分子を見つけ、利用する
— 植物生殖の制御分子の場合 —

武内 秀憲 (トランスフォーマティブ生命分子研究所・YLC特任助教)

10:05~ 魚の視覚回路の進化と味覚による特殊な
摂餌行動の制御機構の解明

萩尾 華子 (大学院生命農学研究科・YLC特任助教)

10:30~ 休 憩

10:40~ 非拘束型IoT/AI衣類による日常的センシングの実現に向けて

榎堀 優 (大学院情報学研究科 講師)

11:05~ コロナ禍における数理工学研究とその応用

伊東 隼人 (大学院情報学研究科 特任助教)

11:30~ 総合討論 ファシリテーター/講評 杉山 直 (名古屋大学 副総長)

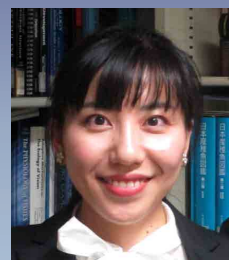
11:50~ 総 評 松尾 清一 (名古屋大学 総長)

11:55~ 閉会挨拶 佐宗 章弘 (未来社会創造機構 機構長)



武内 秀憲

トランスフォーマティブ
生命分子研究所・YLC特任助教



萩尾 華子

大学院生命農学研究科・
YLC特任助教



榎堀 優

大学院情報学研究科 講師



伊東 隼人

大学院情報学研究科 特任助教

参加申し込みはこちら



未来社会を先導する若手研究者たち



武内 秀憲 (トランスフォーマティブ生命分子研究所・YLC特任助教)

名古屋大学理学部生命理学科および同大学院理学研究科生命理学専攻で学び、2013年に博士(理学)を取得。理学研究科/JST-ERATO東山ライブホロニクスプロジェクトの研究者、グレゴールメンデル研究所(オーストリア)の研究者(JSPS海外特別研究員)を経て、2017年より現職。被子植物の生殖に焦点を当て、細胞や分子の認識に関わる鍵分子を発見することで、種のアイデンティティーが決定される仕組みの理解や制御技術の開発に向けた研究を行っている。愛知県名古屋市生まれ。



萩尾 華子 (大学院生命農学研究科・YLC特任助教)

三重大学生物資源学部で水産学などを学び、名古屋大学大学院生命農学研究科で魚の神経系と感覚系を研究し、フランスCentre national de la recherche scientifique (CNRS 研究所) 短期留学を経て、2019年に博士(農学)を取得。理学研究科CREST研究員(新規光遺伝学ツールの開発)を経て、2020年より現職。研究内容は、哺乳類とは異なる魚独自の視覚回路の進化、視覚機能解析、新規透明化技術を用いた魚の味覚系による摂餌行動制御機構の解明などで、国内外との共同研究も行い、学術領域や水産業への貢献を目指している。2019年日本学術振興会育志賞など13件の受賞。



榎堀 優 (大学院情報学研究科 講師)

2010年に立命館大学にて博士(工学)を取得、同大助手を経て2012年より名古屋大学へ。現在、情報学研究科 講師。

ウェアラブルやIoTなど、日常の中に溶け込ませたICT機器によって、人の活動を助けるシステムの構築を主に研究している。技能解析や伝承にも興味があり、近年は、各位が内面で感じている曖昧な感覚を如何にして他の人に伝送するかを研究している。名古屋大学に着任してから長く取り組んでいるテーマとしては、布圧力センサの応用があり、現在は長らく実現されていない日常使いの衣類型システムの実現に向け基盤構築の研究を進めている。



伊東 隼人 (大学院情報学研究科 特任助教)

1986年東京都品川区生まれ。千葉大学工学部を卒業後、同大学院に進学し、パターン認識やコンピュータビジョンの数理について研究。テンソル表現された離散画像の特徴表現・次元削減手法の解析および識別法の構築を行い、2017年に博士号を取得。同年に名古屋大学大学院情報学研究科の研究員に着任、2020年より特任助教。2017年より大腸内視鏡のためのコンピュータ支援診断システム開発に従事。大規模データ解析に基づくシステム開発を行い、医工連携で研究成果をソフトウェア化。開発した大腸内視鏡画像診断支援ソフトウェア群はEndoBRAINシリーズ(Olympus:Tokyo)として社会実装。博士(工学)。